

コンフリクトの人文学

第3号目次

セミナー論文

- 文学人類学への招待
——学際的研究の方法論—— レオ・ラフォルト—— 001

論文

- 「海賊版」の開発／発展 グスタボ・リンス・ヒペイロ—— 027
- ポスト・コンフリクトの日米美術交流
——ジョン・D・ロックフェラー3世の役割を中心に—— 池上裕子—— 041
- フランス東洋学の伏流
——19世紀アルジェリアにおける植民地法と土地権—— 工藤晶人—— 061

研究ノート

- 自立支援とソーシャルキャピタル
——カンボジア国軍除隊兵士自立支援プログラム(CVAP)の事例分析を手がかりとして—— 牧田満知子—— 095
- 80年代イギリスの「ブラック・アート」にみるコンフリクト
——2つの展覧会”From Two Worlds”展(1986年)と
”The Essential Black Art”展(1988年)をとおして—— 石松紀子—— 125
- シエラレオネ革命統一戦線(RUF)の形成と軍事活動の展開
——紛争前史から1993年まで—— 岡野英之—— 159

特別寄稿

- ブラジル日本移民・日系「研究」の回顧と展望
——特に人文・社会科学分野を中心にして—— 森 幸一—— 203

資料と通信

- 民族誌 co-labo 100 の試み
——「書き手」と「読者」による親身の討論空間—— 西 真如—— 267

書評

春日直樹編『人類学で世界をみる——医療・生活・政治・経済』
ミネルヴァ書房、2008年 西垣有—— 276

角田猛之・石田慎一郎編著
『グローバル世界の法文化——法学・人類学からのアプローチ』
福村出版、2009年 加藤敦典—— 280

白杵陽監修、赤尾光春・早尾貴紀編
『ディアスポラから世界を読む——離散を架橋するために』
明石書店、2009年 藤原久仁子—— 288

フランコ・ベラルディ（ビフォ）
『フレカリアートの詩——記号資本主義の精神病理学』
櫻田和也訳、河出書房新社、2009年 吉澤弥生—— 291

工藤真由美・森幸一・山東功・李吉鎔・中東靖恵
『ブラジル日系・沖縄系移民社会における言語接触』
ひつじ書房、2009年 山本晃輔—— 293

Sven Saaler and Wolfgang Schwentker (eds.)
The Power of Memory in Modern Japan
Global Oriental, 2008 酒井册子—— 296

英文要旨 ————— 301

大阪大学グローバルCOE
コンフリクトの人文学国際研究教育拠点事業記録
H21.8-H22.7

1 「コンフリクトの人文学」セミナーの開催記録 ————— 310
2 ワークショップ、研究会等の開催記録 ————— 312
3 国際会議の開催記録 ————— 315
4 大学院生調査研究助成 ————— 315

執筆者紹介 ————— 318

『コンフリクトの人文学』投稿規定 ————— 321

編集後記 ————— 325